

# いばらき柔道整復師会ニュース



令和8年

3/31(火)

Vol.80

## 特別公開講座

## 「感染症対策の基礎知識」～感染症エキスパートから学ぶ～



講師の矢野晴美教授

令和8年2月22日(日)午後2時より、水戸市民会館3階大会議室において、本会主催、茨城県後援による「感染症対策の基礎知識に関する特別公開講座」を開催いたしました。

講師には、国内外で、感染症診療を中心に様々な活動をし、東京2020オリンピック・パラリンピック大会組織委員会理事を務め、感染対策の一端を担うなど感染症のエキスパートとして活躍している、国際医療福祉大学の矢野晴美教授をお迎えして、感染症の予防対策や基礎疾患のある方の重症化リスクなどについて、豊富なお経験をもとに分かりやすく講演いただきました。

講演に先立ち、主催者を代表して箱守会長があいさつに立ち、「新型コロナウイルス感染症は世界的なパンデミックを引き起こし、広域かつ急速な感染拡大により、社会・経済・医療制度等に深刻な影響を与えました。令和5年に5類感染症に移行し、2年が経過した現在でも、感染状況や変異ウイルス等については、引き続き注意を払う必要があります。また、最近では、ダニが媒介する感染症などについても、人間や動物に対して重大な健康リスクをもたらしていることが報告されています。本日の講座で得られた知識が、皆さまの日常生活に役立つことを期待しております。」と述べられた。

講演では、近年の麻疹・風疹の状況にも触れ、日本では高いワクチン接種率により一定の制圧がなされている一方、インバウンド増加に伴い輸入感染症のリスクが高まっていることが紹介されました。

数ある感染症の中でも、ワクチンによって予防可能な疾患を中心に、写真や音声資料を交えながら丁寧に解説していただきました。

講演前半では、成人に推奨される標準的なワクチンについて、後半では、渡航外来での実例を踏まえ、海外へ中長期滞在する際の注意点についてお話いただきました。

渡航先に応じたワクチン接種や予防薬の活用、食事や行動面での留意事項など、実践的な内容が示されました。

特に旅行者下痢症の予防として、「十分に加熱され湯気の立っているものを食べること」、「果物は自ら皮をむいたものを口にする」など、具体的な助言がありました。

講演の結びには、史上最年少でノーベル平和賞を受賞した、マララ・ユスフザイ氏の言葉“Education will change the globe.”(教育は地球を変える)、そして、アウンサンスーチー氏の“Move the elephant!”(頑張れば象も動かせる)をテイクホームメッセージとして紹介され、学び続けることの重要性を強調されました。

講演後の質疑応答では、身近な感染症に関する多くの質問が寄せられ、いずれにも丁寧かつ分かりやすくご回答いただき、会場は大変有意義な学びの場となりました。

最後に、ご多忙の中ご講演を賜りました矢野晴美教授に、心より感謝申し上げます。(広報部長 富永 秀明)

## 臨時総会開催

令和7年度臨時総会が、3月12日(木)午後8時より、茨城県柔道整復師会館において開催された。箱守会長のあいさつでは、本年度予定していた事業もほぼ滞りなく終了する予定になっていることが報告された。

そして、我々施術所の運営状況は、国が進める医療費適正化対策や物価高騰など様々な要因が重なり、経済的に大変厳しい状況である。

特にガソリン価格や電気料金などの上昇が続く中、これまでにないような施術料金の引き上げが必要であると言及された。

また、3月7日の関東学術大会前日に開催された日整役員との意見交換会において、国の通知を逸脱している保険者への指導の徹底について、厚生労働省へ要望すること。また、料金改定についても、現状の施術所の経営状態を訴え、少なくとも診療報酬と同程度の改定になるよう強く要望した。更に、施術範囲の拡充等の検討について、日整としての考え方や今後の取組みなどの質問をしたことが報告された。いずれにしても、今後の動向を注視していく必要があり、引き続き施術所環境が少しでも良くなるよう努めていく方針である旨を述べられた。

続いて、議題の審議に入り、本会定款の一部改正、令和8年度の事業計画及び、会費の納入方法並びに収支予算の4議題が上程され、定款第20条の規定のとおり、すべての議題に対し満場一致で可決された。



あいさつをする箱守会長

総会員数 314名 出席会員数 19名  
(書面出席 163名 委任出席 76名)

### 議 題

- (1) 定款の一部を改正する定款について
- (2) 令和8年度 事業計画について
- (3) 令和8年度 会費の納入方法について
- (4) 令和8年度 収支予算書について

## 第46回 関東学術大会埼玉大会

県南支部 高野 俊瑞

令和8年3月8日(日)大宮ソニックシティにて開催の「公益社団法人日本柔道整復師会 第46回関東学術大会埼玉大会」において、研究発表をさせていただきました。

演題は、私自身が週末に行っているトレーナー活動を、既存研究に基づく学術的見解を加えて検討し作成した「スポーツ少年団における柔道整復師の継続的支援活動-現場対応と予防の視点から-」としました。

令和7年7月より準備をはじめ、論文、研究発表の作成にあたり、本会の新井学術部長と根本副部長にはたくさんのご協力とお時間を割いていただき、期日までに無事に完成させることができました。

大会前日は、本番会場にてリハーサルを行い、その後、開会式・夕食会があり、他県の発表者と交流をする時間があつたことにより緊張が和らぎました。

また、多くのご縁に恵まれ、貴重なお話を伺うことができました。

大会当日は、本会の多くの先生方に応援いただき、とてもリラックスした状態で発表に臨むことができました。

最後になりますが、この貴重な機会を与えてくださった箱守会長をはじめ、新井学術部長、根本学術副部長に深く感謝を申し上げ報告とさせていただきます。



左から箱守会長、発表者 高野会員、新井学術部長、長尾日整会長

## 令和7年度 保険取り扱い等講習会

令和7年10月13日(月・祝)小美玉市 四季文化館 みの〜れにおいて、本会主催、茨城県後援による「令和7年度保険取り扱い等講習会」が開催されました。

当日は、本会会員及び茨城県内の柔道整復師322名が参加されました。

講習会は、藁谷和彦副会長の開会のことばで始まり、箱守志農夫会長が主催者を代表して、「本講習会は茨城県とそれに伴う行政機関との連携により実施されている事業である。療養費支給申請書においては、内部に審査委員会を設置し事前に内容点検を行うなど、適正化にも務めています。非常に残念なことです。我々を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。国においては、我々業界のデジタルトランスフォーメーションの検討が推進されております。これからの社会情勢を真摯に受け止め、マイナンバーカードによるオンライン資格確認や、オンライン請求などについても、国の示す方針に沿って進めていくことが寛容であり、避けては通れないと考えています。会員の皆様には、常に謙虚さとコンプライアンス「法令遵守」、そして我々の本来の目的である地域に根差した良質な施術を提供し貢献していくことで、住民の皆さん、保険者、行政機関から信頼を得ていくことが必須と考えています。」とあいさつされました。

そして講演に入り、全国健康保険協会茨城支部 業務部 業務グループ長の仲田幸成氏より、「整骨院・接骨院のかかり方について」と題し、「柔道整復師の施術にかかる療養費の取扱いについて」「健康保険給付について」「マイナ保険証について」など、柔道整復師の療養費、業務内容等を詳細で丁寧に説明していただきました。

続いて、日本赤十字社 水戸赤十字病院 元副院長の上牧裕氏より、「スポーツ整形外科 コメディカル(接骨院)との関わりと膝関節の診察法」と題し、外傷に対する医師の治療法と柔道整復師の業務範囲、健康保険を使用時の施術について説明がありました。

その中でも、外傷予防指導として柔道整復師が行っている少年野球をしている子供たちの肘の超音波観察は、ケガの早期発見の参考となっていること、また、膝関節の診察法では、診断の流れ・病歴聴取と理学所見のポイント、そして、膝関節の外傷に対する18種類以上もの徒手検査法、スポーツ競技の現場で実際にあった事故、けがの治療その後の回復へのアプローチなど、幾つもの事例をあげて詳細に説明していただきました。

次に、本会保険部長の後藤健雄より、「保険取り扱いに関する留意事項について」療養費受領委任払いは、被保険者の一時的な経済的負担や事務手続きの労力を軽減するための制度でもあり、支給申請書の作成にあたり疑義をもたれたり整合性を問われるようなことがあってはならないこと、一枚の申請書に対しての評価と判断だけではなく、その施術所の傾向や患者個人の通院の傾向などを積み重ねて保険者が審査していることなどを説明し、毎月発行している保険部便りで幾つもの返戻事例を挙げているので活用してほしいと述べました。

また、年々増加する国の医療費に対して、誠実で安価な柔道整復療養費で貢献してゆくことが、これからの我々が需要を得る大きな要素となっていくとの考えを示していました。

最後に、株式会社エス・エス・ビー 常務取締役 営業統括本部長の武田健司氏より、「資格確認限定型レセコン連携機能について」オンライン資格確認のための機器購入費用、API連携機能導入に必要なレセコン改修費用の補助金申請についての説明がありました。

講習会は、吉原貴範副会長の閉会のことばにより終了となりました。(広報委員 桜井 亮)



# 文部科学大臣杯争奪 第34回日整全国少年柔道大会 第15回日整全国少年柔道「形」競技会 第6回全国柔道整復師高段者大会

第34回日整全国少年柔道大会 茨城県代表監督 雨谷 紀雄

令和7年11月16日(日)柔道の聖地、講道館大道場において、文部科学大臣杯争奪 第34回日整全国少年柔道大会・第15回日整全国少年柔道「形」競技会・第6回全国柔道整復師高段者大会が開催されました。

観客席には、全国各地から応援に駆けつけた保護者などで満員となり、その視線の先にはこれまで成長を見守り続けてきた逞しい子供たちの姿がありました。

開会式では、今大会の審判長で講道館指導員の鮫島元成先生のあいさつがあり、その中で「日頃の練習の成果を存分に発揮して、県代表の自覚をもって頑張ってください。応援される方は、声ではなく拍手をもってお願いします。」というお話がありました。

本県代表チームは、1回戦は山口県代表と対戦し2-0で勝利し、2回戦は強豪である東京代表Aチームと対戦し2-1で接戦をものにし勝利しました。

続いて3回戦は、三重県代表と対戦し2-1で勝利、4回戦は岐阜県代表に2-0で勝利し準決勝へと進みました。準決勝は、千葉県代表と対戦し2-2の同点のため任意選手による代表戦となりましたが、健闘及ばず惜しくも敗退となってしまいました。

決勝戦は、宮崎県代表と千葉県代表が対戦し、1-1の同点による任意選手の代表戦で宮崎県代表が勝利し、みごと3連覇を果たしました。

本県代表チームは、第3位という結果でしたが、各試合、懸命に戦った選手たちの健闘を称えたいと思います。なお、先鋒の相沢君は、全試合1本勝ちで優秀選手賞を受賞しました。

本県代表チームのコーチで、茨城県柔道連盟小学生部部長の長島宏幸先生には、選手達を支えていただき大変お世話になりました。

続いて、午後から開催された少年柔道「形」競技会では、47チームが4ブロックに分かれて予選が行われました。

本県代表は、Cブロックにて予選が行われましたが、残念ながら決勝に進出することができませんでした。

優勝は東京都代表で、5連覇中の兵庫県代表は惜しくも準優勝となり、6連覇は果たせませんでした。

同日開催された、全国柔道整復師高段者大会には、本県から5段の部に上野良知会員、6段の部に綿引徹会員と青木竜也会員が出場し、仕事の傍ら柔道に鍛錬し試合に出場することには頭がさがります。

## 少年柔道大会代表選手

監督 雨谷 紀雄  
 コーチ 長島 宏幸  
 大将 塩浦 有玖 (常総市体育協会石下柔道部)  
 副将 青木 琥太郎 (下館武道館)  
 中堅 大野 未悠 (高萩市柔道スポーツ少年団)  
 次鋒 青木 泰獅 (下館武道館)  
 先鋒 相沢 咲太郎 (中郷柔道スポーツ少年団)



## 少年柔道「形」競技会代表選手

監督 箱守 勇人  
 取 箱守 杏  
 受 深谷 城太郎  
 (多賀柔道スポーツ少年団)

## 全国柔道整復師高段者大会出場選手

5段 上野 良知  
 6段 綿引 徹・青木 竜也



## 公益社団法人日本柔道整復師会 「匠の技」伝承プロジェクト 会員研修「匠の技」技術講習会を開催

令和7年9月28日(日)午後1時より本会会館において、公益社団法人日本柔道整復師会共催による『「匠の技」技術講習会』が開催されました。

本講習会は、柔道整復師の未来を担う若い世代の会員を対象に、整復・固定における基本技術の継承と共有を目的として企画されたものです。

当日は、12名の会員が参加し、熱心に研修へ取り組む姿が見られました。

講師は、当プロジェクトの指導者候補の新井俊行学術部長、根本隆司学術副部長、福田紘一会員が務め、肩甲上腕関節脱臼の整復・固定法をテーマに実技中心の研修が行われました。

研修は、「匠の技プロジェクト総論」のDVD上映から始まり、超音波観察装置の取扱い実習、整復・固定実技実習へと進み、段階的に理解を深められる内容となりました。

骨折・脱臼の施術経験が少ない会員に対しても、基本手技を丁寧に確認しながら、超音波観察装置を補助機器として安全に活用するための実践的な指導が行われました。

参加した会員からは、「先輩方の実体験に基づく話が非常に勉強になった。」「学んだ内容をすぐに臨床で実践していきたい。」といった声が聞かれ、講習会の充実ぶりがうかがえました。

本講習会を通じて、整復・固定の基本技術の重要性を改めて共有するとともに、若手会員にとって大変有意義な学びの場となりました。

(広報委員 長谷川 秀樹)



# 第10回記念 水戸黄門漫遊マラソン ～救護に参加～

令和7年10月26日(日)今年で10年目となる水戸黄門漫遊マラソンが「がんばっぺ!ねばり強く夢に向かって!」をスローガンに、第10回記念大会として盛大に開催されました。

当日は雨の心配がありましたが、県内外から1万人に及ぶランナーが参加されました。

本会からは、ランナーケアとして、19.4km地点に荘司智也・吉田茂・生井崇文・朝倉博幸の4名、29.3km地点に藤田博美・杉本秋生・櫻井雅明・高田敬の4名、33.2km地点に新井俊行・後藤洋彰・木村栄作・宮部和浩・長谷川秀樹の5名、ゴール地点に岩本勝久・早川好機・中川翔太の3名の計16名の会員が参加しました。

幸いに重症者の方はおらず、患部のテーピングやストレッチ、手技療法などを行い素早く再スタートができるよう一生懸命努力しました。

大会スタッフ、医師・看護師の方々との連携を密に救護活動ができました。(広報委員 朝倉 博幸)



水戸市土木補修事務所 (29.3km 地点)



借楽園別邸付近 (33.2Km 地点)



折り返し地点



イオンモール水戸内原1駐車場 (19.4km 地点)



ゴール地点 (42.195km)

## 第45回つくばマラソン ボランティア活動

令和7年11月23日(日)第5救護所において、看護師、消防・救急、トレーナー、受付と我々柔道整復師での編成により、隣接する三つのテントでランナーの救護活動にあたりました。

昨年とは大幅にコースが変更され、天候にも恵まれて気温も上がりすぎない絶好のコンディションで行われた大会となりました。

ケアサービスチームとして、吉原貴範、鮎川秋雄、永田喜久雄、齋藤正仁、田中広一、飯塚丈仁、倉持孝浩、大久保博之、高橋良文、湯田隆幸、桜井亮の11名でフルマラソンに出場した約9,000人にランナーケアを提供すべく、最高のチームワークと笑顔で全力を尽くしました。

28km地点での救護でしたので、まだまだ先を目指してしっかりした足取りで走り抜けるランナーの皆さんが多く見受けられました。

その中で、我々が担当した筋肉の疲労からの痛みや、関節の痛み不調などを訴えた昨年より多くのランナーへの施術に、最善を尽くすことができましたと思います。

我々に対するランナーからの要求も、回を重ねるごとに傾向を把握してきているので、施術を工夫してより良いケアができればと思います。

来年も、ランナーの方々に少しでも走る手助けが提供できて、会員の先生方と筋肉の疲労からくる痛み、捻挫、関節痛等への施術方法の話しや、貴重な体験と交流をさせていただきたいと思っています。

とても楽しく気持ちのいい一日でした。

(広報委員 桜井 亮)



最高のチームワークと笑顔で全力を尽くした救護員

## 第73回勝田全国マラソン 救護活動

令和8年1月25日(日)ひたちなか市および東海村を舞台に「第73回勝田全国マラソン」が開催されました。当日は、冷たい北風が吹きつける非常に寒いコンディションの中、全国各地から15,500人を超えるランナーが参加しました。

フルマラソンの部は、午前10時30分にスタートし、10kmの部もそれぞれの時間に競技が開始されました。

本会からは、23.5km地点(海原医院)に、藁谷和彦、藤田博美、中川翔太、長谷川秀樹の4名、31km地点(西原運動公園)に、新井俊行、高田 敬、岩本勝久、早川好機、野澤行宏 の5名、計9名の会員が救護活動に参加しました。

私が担当した23.5km地点では、強い冷たい北風の影響を考慮し、低体温症を想定した事前準備を行いました。

救護所には、途中リタイヤを希望されるランナーのほか、下肢、特に膝関節や腸脛靭帯の痛みを訴えるランナーが多く来所されました。

処置が必要なランナーに対しては、筋肉・関節外傷に対する応急手当、アイシング、ストレッチ、テーピング処置などを状況に応じて迅速に行い、できるだけ早く競技へ復帰できるよう心掛けました。

多くのランナーへの対応を通じて、会員一人ひとりが日頃の施術で培った技術と経験を存分に発揮できた救護活動となりました。

今後も、このような救護活動を通じて、地域スポーツの安全を支え、地域医療への貢献を継続してまいります。(広報委員 長谷川 秀樹)



海原医院 (23.5km 地点)



西原運動公園 (31km 地点)

## 県西支部講習会開催

令和8年1月18日(日)午後1時より、常総市の石下総合福祉センターにおいて、令和7年度県西支部講習会が開催されました。

当日は、始めにエコーの取り扱い等について、本会水戸支部の川村大貴会員に『これさえわかれば大丈夫? 目指せ骨折マスター』と題し、詳しく説明していただきました。

とても解りやすく大変勉強になりました。

次に、本会の後藤健雄保険部長による、保険の現況や保険請求の注意点、改善策等の詳細な説明があり、丁寧かつ解りやすく会員の先生方の今後のスキルアップにつながりました。

とても充実した1日になりました。

(広報委員 朝倉 博幸)



エコー講習会 講師 水戸支部 川村大貴会員



保険講習会 講師 後藤健雄保険部長

## 水戸支部保険講習会を開催

水戸支部 高田 敬

令和8年2月14日(土)本会会館において、水戸支部保険講習会が開催されました。

当日は、水戸支部会員33名が参加し、箱守志農夫会長ならびに後藤健雄保険部長をお招きして講演をいただきました。

まず、箱守会長より「今後のオンライン請求の見通し」について、進捗状況等の説明がありました。

続いて、後藤保険部長からは、「保険請求業務に関する具体的な実務内容」に加え、「接骨院経営におけるさまざまな取り組み」について、説明をいただきました。

参加者は、熱心に耳を傾け、明日からの業務に役立つ資料も配布され、大変有意義で充実した講習会となりました。



## 第14回公益社団法人茨城県柔道整復師会 チャリティーゴルフ大会

令和7年12月21日(日) 浅見ゴルフ倶楽部において、  
 本会主催のチャリティーゴルフ大会が開催されました。

大会要綱で雨天決行の案内をしておりましたので、  
 1週間前から雨の天気予報に、関係者は皆、天に向  
 かって祈っておりました。

私は、3日前に10年近く着ていない雨合羽にレイン  
 ガードをスプレーしながら、冷たい雨の中でゴルフを  
 するイメージをしつつ、覚悟を決めておりました。

その後、天気予報に変化があり・・・!

大会当日は、曇天ではありますが雨も降らず、前  
 日より暖かい日になりました。

この日、浅見ゴルフ倶楽部に集まったのは、来賓  
 及び協同組合賛助会員を含め、好スコアを夢に見る  
 35名の方々であります。

プレー後半に、一時通り雨が降った程度で、全員  
 無事ホールアウトできました。

この日のために、協賛各社から多くの賞品を提供  
 していただきました。

表彰式は、所用で数名の方が参加できませんでした  
 が、和やかな雰囲気の中、アドリブに強い山口総  
 務部長の名調子で始まり、ドラコン賞、ニアピン賞、  
 ブービー賞と発表され、優勝は、グロス78ネット  
 70.8の高田博美先生でした。

ちなみに、本会の箱守会長にスコアをお聞きした  
 ところ、グロス92の1バーディーでニッコリしてお  
 られました。

表彰式の合間には、チャリティーの募金箱が回さ  
 れ、総額32,500円が集まり、後日、茨城新聞社の『愛  
 の募金』へ寄付させていただくことになりました。

参加賞には、恒例の「みんなが喜ぶ卵」が配られ、  
 家族へのお土産もでき楽しい一日になりました。

来年のチャリティーゴルフ大会には、本年以上の  
 参加者が集まることを願っています。

(広報部副部長 羽田 直裕)



## 会員になって想う!

県南支部 高谷 信之



令和6年10月に入会させていただ  
 きました高谷と申します。

入会の際は、会長をはじめ執行部  
 の先生方、事務局スタッフの皆様には、丁寧なご指  
 導とアドバイスを多岐にわたりいただきお世話にな  
 りました。

心より感謝しております。

無知である私にとって、様々な情報・知識が学び  
 となり、温かい手厚いサポートが不安の解消と助け  
 になりました。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いい  
 たします。

### ■新入会員■



県南支部 名取 智昭

そら接骨院

つくば市稲岡66-1イオンモールつくば2F

☎ 029-846-0575



水戸支部 荒木 恵太

かみず整骨院

神栖市筒井1709-22

☎ 0299-94-8456



県南支部 樋熊 健太

まつもと鍼灸接骨院 (つくば)

つくば市吾妻1-6-1トナリエつくばスクエア

「トナリエキュート」1F

☎ 029-869-7888



水戸支部 中川 翔太

文晴接骨院

水戸市赤塚2-2018-167

☎ 029-251-3568



県南支部 有江 柚喜

すみれ接骨院

守谷市けやき台6-16-27

☎ 0297-50-0113

### 《訃報》

- ・ 皆葉 瑞男 (みなば みずお)  
 県西支部会員  
 県西支部 皆葉 太加男 会員の父  
 令和7年8月11日死去 85歳
- ・ 逆井 安 (さかさい やすし)  
 県南支部 逆井 秀樹 会員の父  
 令和8年1月3日死去 94歳
- ・ 水野 昇 (みずの のぼる)  
 県西支部 水野 猛 会員の父  
 令和8年1月7日死去 88歳
- ・ 沼口 香代子 (ぬまぐち かよこ)  
 県西支部 沼口 修一 会員の母  
 令和8年2月8日死去 81歳

## 救護員派遣の近況

令和7年9月15日(月・祝)

令和7年茨城県柔道「形」競技大会

アルテンジャパン武道館

羽石 勝(県北支部)

負傷者なし。

令和7年9月28日(日)

茨城県柔道連盟県北支部

令和7年度小学生学年別柔道大会及び柔道段別大会

日立市武道館

羽石勝(県北支部)、佐間田仁(水戸支部)

頭部打撲・顔面打撲の2名の選手にアイシングの処置をしました。

令和7年10月25日(土)

令和7年度茨城県スポーツ少年団柔道競技大会

アルテンジャパン武道館

佐間田仁(水戸支部)、上野良知(県西支部)

前額部打撲、趾打撲等の3名の選手にアイシング、テーピングの処置をしました。

令和7年10月26日(日)

第10回記念水戸黄門漫遊マラソン

イオンモール水戸内原I駐車場(19.4Km地点)

荘司 智也(水戸支部)

朝倉博幸、吉田茂、生井崇文(県西支部)

水戸市土木補修事務所(29.3Km地点)

藤田 博美、杉本 秋生、高田 敬、櫻井 雅明(水戸支部)

偕楽園別邸付近(33.2Km地点)

新井 俊行、宮部 和浩、木村 栄作、後藤 洋彰

長谷川 秀樹(水戸支部)

ゴール(42.195Km)

岩本 勝久、早川 好機、中川 翔太(水戸支部)

大腿部、下腿部、膝等を負傷した711名のランナーにテーピング、アイシング、ストレッチ、コールドスプレー等の処置をしました。

令和7年11月3日(月・祝)

第35回茨城県四地区対抗柔道大会

アルテンジャパン武道館 柔道場

佐間田仁、綿引徹(水戸支部)

指関節捻挫、頸部捻挫、足関節捻挫等の5名の選手にテーピング、湿布、包帯等の処置をしました。

令和7年11月23日(日)

第45回つくばマラソン

つくば市内コースペDESTリアンデッキ 第5救護所

吉原貴範、鮭川秋雄、永田喜久雄、齋藤正仁、桜井亮、飯塚丈仁、田中広一、倉持孝浩、高橋良文、大久保博之、湯田隆幸(県南支部)

大腿部、下腿部、足関節等を負傷した39名の選手にアイシング、テーピング、ストレッチ等の処置をしました。

令和8年1月24日(土)

令和8年茨城県柔道選手権大会兼関東柔道選手権県予選

令和8年茨城県女子柔道選手権大会兼関東女子柔道選手権県予選

筑波大学武道館 柔道場

下村 年秋(県南支部)

指、趾を負傷した8名の選手にテーピング等の処置をしました。

令和8年1月25日(日)

第73回勝田全国マラソン

海原医院(23.5Km地点)

藁谷和彦、藤田博美、長谷川秀樹、中川翔太(水戸支部)

西原運動公園(31Km地点)

新井俊行、岩本勝久、高田敬、早川好機、野澤行宏(水戸支部)

大腿部、下腿部、膝関節、足部等を負傷した238名のランナーにテーピング、アイシング、コールドスプレー等の処置をしました。

令和8年2月28日(土)

令和8年茨城県柔道段別選手権大会

令和8年茨城県女子柔道大会

令和8年茨城県柔道高段者大会

アルテンジャパン武道館 柔道場

佐間田仁(水戸支部) 青木竜也(県西支部)

左足関節を負傷した1名の選手にアイシング、包帯の処置をしました。

令和8年3月15日(日)

第46回全国少年柔道大会茨城県予選

牛久市運動公園武道館

館野 賢治(県南支部)

指、肘等を負傷した5名の選手にテーピング、アイシング等の処置をしました。

### いばらき柔道整復師会ニュースの電子版移行のお知らせ

当ニュースは、初刊以来、全80号にわたり誌面で発行しておりましたが、今年4月からはリアルタイムに情報を発信するため電子版へ移行することになりました。

つきましては、以下のURLまたはQRコードから本会ホームページへアクセスしていただき、是非ご覧くださいませようよろしくお願いいたします。

今後とも本会の広報活動にご理解とご支援を賜りますよう併せてお願いいたします。

【いばらき柔道整復師会ニュース 掲載ページ】

公益社団法人茨城県柔道整復師会ホームページ

URL <http://www.shadan-ibaraki.or.jp>



QRコード



のバナーから  
ご覧ください。

### 編集後記

2026年1月5日豊洲市場では、恒例の『初競り』が開かれ243kgのクロマグロが5億1,030万円

競り落とされました。

2025年から2026年にかけて、株価は最高値を幾度となく更新。

世の中は景気の良い数字が踊る傍ら、物価の高騰で卵や砂糖の値段が上がる一方、サラリーマンの給与や診療報酬にあまり変動もなく、庶民の生活を圧迫しています。

このような中、我々柔整師にとっても大変厳しい時代です。特に近年のペーパーレス、レセコンAPI連携、オンライン請求と政府主導で変革の流れが進む中、私たちもこの流れに取り残されないように結束し、足並みを揃える事が必須となってきています。

また、これまで全80号にわたり、紙面で発行してきた当ニュースも、4月から電子版へ移行いたします。

今後は、情報を適時発信していきますので、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。(広報部副部長 羽田 直裕)

今日と未来を、つなぐ。

変化が激しく、新しい価値観が生まれる時代。  
今日という、一日一日を大切に。  
その積み重ねが、未来へとつながっていく。  
日本生命は今を生きるすべての人たちの  
トータルパートナーとして  
これからも社会に向き合い続け、ともに歩んでいきます。

2021-1496G,総合企画部




「生きる」を創る。

保障と相談サポートで  
あなたによりそう  
がん保険  
ミライト

【募集代理店】北関東ファミリー株式会社  
https://www.kfamily.net/  
フリーダイヤル:0120-48-3376 FAX:029-248-8522  
〒310-0842 水戸市けやき台2-14-1

■ アフラックサービスショップ ■ -----  
けやき台店 / フリーダイヤル:0120-48-3376

外国人患者の来院対応には **この1冊!**  
指差しするだけで簡単コミュニケーション

柔道整復師のための  
外国人対応ハンドブック  
Judotherapist-Patient Handbook 【英語版】

本書は、WEBからご注文いただけます。  
www.j-hsk.co.jp/judotherapist/handbook.html

柔道整復師のための外国人対応ハンドブック




運営会社：株式会社 HSK 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル 8F

お客さまアドバイザーは  
フコク生命オリジナル 水戸支社  
ご当地キティとともに  
夢と安心をおあなたにお届けしていきます。



水戸支社オリジナル  
ご当地キティ  
HelloKitty  
© 2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L660292  
「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。

富国生命保険相互会社 水戸支社  
〒310-0026 水戸市泉町 1-1-4 水戸フコク生命ビル 5F ☎029-221-2384

人と人の間に  
**フコク生命**  
THE MUTUAL

☎広-020-0052 (2025.6.30)

ひとに健康を、まちに元気を。

**明治安田**

明治安田生命保険 水戸支社

ドローンのことならなんでも承ります!

**ドローン産業株式会社**

茨城県土浦市大和町7-19

TEL 029-834-2560 FAX 029-834-2563

SEKISUI HEIM

セキスイハイムから  
茨城柔道整復師会 会員の皆様へ

組合員の皆様、また皆様からご紹介いただいたお客様は  
新築・建替工事・アパート建築工事他において請負契約いただくと  
提携割引がご利用いただけます。ぜひ、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ・資料請求・ご相談・展示場見学予約は  
フリーダイヤルから  
☎0120-013-816

ホームページから 

茨城セキスイハイム

宅地建物取引業者免許証番号 茨城県知事(13)第1974号  
建設業許可番号 茨城県知事許可(特-03)第5769号  
(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟  
(公社)茨城県宅地建物取引業協会会員

**茨城セキスイハイム株式会社**  
〒310-0852  
茨城県水戸市笠原町600-62 TEL.029-303-8163



団体保険は接骨院経営者の基礎となる保険です!

# 柔道整復師 総合補償制度

総合保険コンサルタント・賛助会員

アームリンク株式会社

代表取締役 小林 和義

TEL 027-255-3233

URL <https://armlink.net/>



## 保険の見直しをしてみませんか? あなたに『ベストな保険』の お手伝いをいたします!



三井住友海上火災保険 ハイグレードエージェント  
三井住友海上あいおい生命 エグゼクティブメンバーズクラブダイヤモンド  
三井住友海上プライマリー生命

### サンツクバ 株式会社

お問い合わせは **TEL.029-841-5858**

サンツクバ   詳しくはホームページをご覧ください。  
土浦市中村南 1-2-23 URL <http://www.suntsukuba.com>  
R7年10月1日に移転予定(土浦市中村南1-4-9)



## Wemias - ウェミアス -

栃木県宇都宮市上戸祭町2989-105

TEL : 090-2431-7606

担当 池田

◆体験デモのご依頼お待ちしております◆



伊勢屋グループ  
水戸プラザホテル Tel.029-305-8111(代表)  
〒310-0851 茨城県水戸市千波町2078-1 <http://www.mito-plaza.jp/>

企画・デザインから印刷・製本まで  
まごころ込めた製品を提供します



時代に合ったサービスを提供し続ける  
**山三印刷株式会社**

〒311-4153 水戸市河和田町4433-33  
TEL 029 (252)8481 / FAX 029 (252)8459  
E-mail : [info@yamasan-print.co.jp](mailto:info@yamasan-print.co.jp)

おかげさまで**53**周年

# 塚本工業株式会社

ギフトセンターツカモト

茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2880-2

TEL 029-834-2560 FAX 029-834-2563

導入実績10,000件以上!

接骨院・整骨院専用のレセコンなら

# 三四郎くん

**SSB** 株式会社 エス・エス・ビー

〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル  
TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874



## 《超音波観察装置》

他にも取扱い機種多数!  
詳しくは弊社にお問合せ下さい。

※タブレット・スマートフォンは、セットに含まれていません。  
※適応モバイル端末には仕様の必須要件があります。  
※お手持ちのスマートフォンやタブレットに専用アプリをインストールすることでいつでもワイヤレス接続で観察が可能です。

ポケットに入る小型サイズ  
約200gの軽量設計

## Aplio air

医療機器認証番号:  
306ACBZX00021000  
製造販売元:  
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

